

【中頓別】コミュニティレストラン(地域食堂、コミレス)を今春開設予定の公衆浴場「黄金湯」は、料理の腕を振るう非常勤の「ワンデイシェフ」を募っており、希望者が話し合う集いを22日に開く。店名も2月末まで募集。一方、14日に町民センターで開かれた町主催の第39回健康づくり講座では、コミレスで提供予定の地元野菜の「ミルクスープ」を無料配布し大人気だった。

コミレスは、住民が運営に参画する集いと憩いの場で、町が黄金湯を経営する渡辺由起子さんに開設を委託。

ワンデイシェフは希望者が日程調整し黄金湯のコミレスで交代で料理を出すボランティア。希望者は22日正午に黄金湯に集まり、渡辺さんらの手作りカレーを食べながら、料理を出す頻度や売り上げの扱い、料理内容などを話し合う。事前に電話で参加を申し込む。

店名募集は、①店名(あれば理由も)②氏名③住所を書き、黄金湯に持参するか、はがきかファクスで2月末までに送る。

黄金湯のコミレス開設準備のスタッフらは14日、健康づくり講座会場で、ジャガイモ、カボチャ、ニンジンなど地元野菜7種を使った「ミルクスープ」を無料提供し、人垣が絶え

## 中頓別に開設予定のコミレス 集まれ「一日シェフ」



### 22日黄金湯で話し合い

ず、お代わりをする人も多く大人気。町内の主婦(63)は「野菜たっぷりとてもおいしい。コミレスでどんな料理が出るのか楽しみ」と期待した。ワンデイシェフと店名の応募は098・5551 中頓別町字中頓別60の1、黄金湯 ☎01634・62300(ファクス兼用)へ。

(太田一郎)

14日の「健康づくり講座」で大好評だった、黄金湯の「ミルクスープ」の無料配布